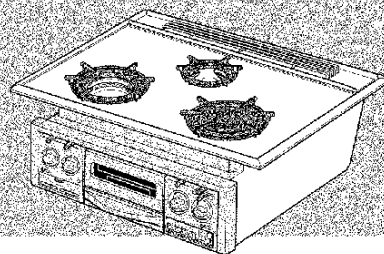


ビルトインコンロ

110-5090型

型式名 R8C-N730V4GRT2



取扱説明書

- ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。
- 本製品には保証書が同梱されています。内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 幼いお子様にはさわらせないでください。
- 本製品は家庭用ですので業務用にお使いになると著しく寿命が縮まります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- この取扱説明書の他に設置工事説明書があります。機器の移設、取り替え、修理の際に必要となりますので取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、または大阪ガスにて再購入してください。

 大阪ガス

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

△ 危険

ガスクさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）
大阪ガスにご連絡ください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのビルトインコンロをお求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

別添の保証書、設置工事説明書とともに、
この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●安全上のご注意	1～6
●各部の名称と特長	7～8
●準備をしましょう	9～11
●使いかた	12～26
●日常の点検とお手入れ	27～31
●故障かな？と思ったら	32～33
●長期間使用しない場合	34
●機器の設置	34
●アフターサービス	35
●別売部品のご紹介	36
●寸法図	36
●仕様	37

※**図表**内の数字はページを示しています。

安全上のご注意

必ずお守りください

この製品および取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容が説明してあります。

●以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です



接触禁止



分解禁止

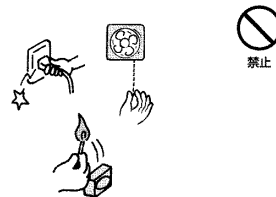


この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です

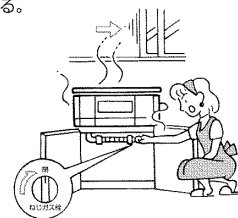
⚠ 危険

■ガス漏れに気づいたら

火をつけたり、電気器具のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、周辺の電話の使用をしない。
引火し爆発事故を起こすことがあります。



- ①すぐに使用をやめガス栓（ねじガス栓）を閉める。
- ②窓や戸を開けガスを外に出す。
- ③お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡する。



警告

- 必ず銘板に表示してあるガス（ガスグループ）を使用する
- 転居されたときも供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する

使用ガスと一致していない場合、そのまま使用すると不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。

また、故障の原因にもなります。銘板は機器の本体底裏面に張ってあります。

使用ガスがわからない場合はガス事業者、販売店にご相談ください。

〈例〉銘板（12A・13Aの場合）

都市ガス	
12A用	13A用
ガス消費量	ガス消費量
製造年月および製造番号	RN(O)
リンナイ株式会社	

製造年月

ガスグループ



ガスの確認

- 火をつけたまま機器から離れない、就寝・外出をしない

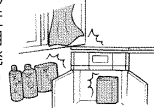
火災、機器焼損の原因になります。とくに天ぷらや揚げものの調理をしているときやグリルを消し忘れると、焦げたり燃えたりして火災になる場合があります。

電話や来客の場合は、いったん火を消してください。



- 燃えやすいものを近くに置かない
- スプレー缶など可燃性ガスを近くで使用しない、置かない

カーテンなど燃えやすいものを近づけたり、スプレー缶・カセットコンロ用ボンベ・ガソリン・ペンジンなどの引火の恐れのあるものを近くに置いたり、使用しない。火災・爆発をおこすことがあります。



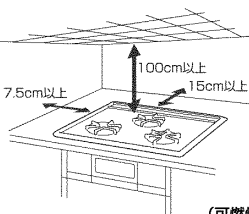
- 設置するときは可燃物との距離を確実に離す

火災予防条例で定められています。必ず守ってください。

距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス板などを、直接取り付けご使用になっても、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。

- 機器を設置した後、周辺の改造をしない

吊り戸棚などをつけた場合、可燃物との距離が守れなくなり、不完全燃焼や火災になることがあります。



・可燃物との距離を確実にとる（左図参照）
・守れない場合は別売の防熱板を取りつける

（可燃性の壁の場合）

※詳しくは、設置工事説明書を参照してください。

- ガス接続には専門の資格・技術が必要で

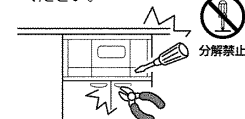
機器の設置・移動・買い替えの際には、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。



※詳しくは、設置工事説明書を参照してください。

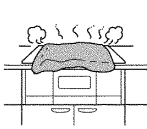
- 機器に手を加えない

お手入れが必要なところ以外は絶対に分解したり修理・改造は行わない。ガス漏れや火災の原因になる恐れがあります。万一故障と思われる時は、販売店に相談してください。



- 排気口をふさがない

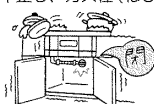
排気口の上をなべ・アルミはく・ふきんなどでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。



警告

- 異常時の処置

地震、火災、点火しない場合、使用中に異常な燃焼・臭気・異常音を感じた場合、途中消火した場合は、すぐに使用を中止し、ガス栓（ねじガス栓）を閉めてください。
『故障かな？と思ったら』に従い処置をしてください。



使用を中止する

- 幼いお子様にはさわらせない

けがや やけどをする恐れがあります。



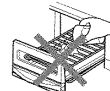
- ごとくをはずして直接コンロになべを置いて使用しない
- 市販の補助具（アルミはく製する受け、補助ごとくなど）は使用しない

この機器の付属品あるいは指定のもの以外は使用しないでください。ごとくをはずしてなべや補助具を使用しないでください。標準バーナーのしる受け側面の穴をアルミはくなどでふさがなくてください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や異常過熱による火災や機器焼損の原因となります。



- グリルを続けて使用する場合は、そのつどグリル皿にたまった脂などを取り除く また使用後も必ず掃除する

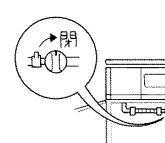
グリル皿にたまった脂が過熱されて発火し、グリル排気口より炎が出ることがあります。なおグリル皿には何も入れなでください。



脂を取り除く

- 使用後は必ず消火を確認する

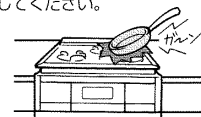
使用後は必ず消火を確認してください。就寝・外出時はガス栓（ねじガス栓）も閉めてください。



消火を確認

- トップレートに衝撃を加えない
- トップレートの上にのらない

トップレートにひびが入り、異常過熱や火災の原因になります。ひびが入ったときは、すぐに修理を依頼してください。



注意

- 使用中は換気をする

ご使用と同時に窓を開けたり、レンジフードファンを回すなど必ず換気をしてください。換気しないと一酸化炭素中毒の原因になります。

ただし、室内給気（FE・CF）給湯器・ふろがまを使用している場合は、窓などを開けて換気してください。レンジフードファンを回すと排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になります。

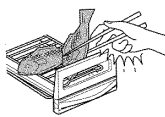


レンジフードファンを回す

- 魚を取り出す時、手や腕がグリルとびら・ガラスなどに触れないこと

グリル使用時、グリルとびら・グリルとびらガラス・グリル焼網・グリル皿などは高温となります。魚を取り出す際は手や腕などが触れないようにご注意ください。

やけどをすることがあります。

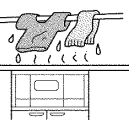


接触禁止

⚠ 注意

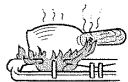
■調理以外に使わない

衣類の乾燥や練炭の火起こしなどをしない。
火災や機器焼損の原因になります。



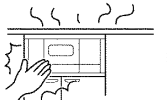
■やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する

はみ出した炎によりなべの取っ手が過熱され、やけどや取っ手の焼損の原因になります。



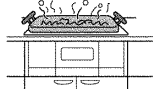
■やけどに注意

使用中、使用直後は操作ボタン・操作部・火力調節つまみ・グリルとびら取っ手以外は高温です。防熱板を取り付けた場合、防熱板も高温になります。さわらないでください。



■炎をふさいだり、コンロをおおわない

コンロをおおような極端に大きい鉄板類やなべを使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒や異常過熱による火災や機器焼損の原因となります。



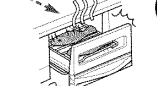
■グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない

アルミはくの上に脂がたまり発火し、火災の原因になります。



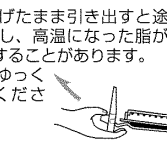
■グリルとびらを開けたままグリルを使わない

機器上部が変色したり、ワークトップをこがす恐れがあります。



■グリル皿は持ち上げたまま引き出さない

グリル皿を持ち上げたまま引き出すと途中で止まらず落下し、高温になった脂がこぼれてやけどをすることがあります。グリル皿は水平にゆっくり出し入れしてください。



■グリル皿だけを持って本体より取りはずさない

グリルとびらが落下し、けがややけどをすることがあります。ぬれぶきんなどで持ってもやけどの原因になります。必ずグリルとびら取っ手を持って取りはずしてください。



■グリルとびらガラスに衝撃を加えない・傷をつけない

使用中、使用直後に水をかけない。ガラスが割れて、けがややけどの原因になります。



■グリル庫内に不要な物がないことを確かめる

グリル庫内に食品くすやぶきんなどがあると使用中に発火する恐れがあります。



■コンロ使用時は体の一部や衣服をバーナーに近づけない

衣服に炎が移り、やけどをする恐れがあります。



■点火操作をするときは、バーナーや排気口付近に顔を近づけたり、グリルとびらを開けてのぞき込まない

炎や熱でやけどをすることがあります。



⚠ 注意

■グリル皿に水を入れない

グリルを使用するときは、グリル皿に水を入れないで使用してください。グリル皿が浅くなっているため、こぼれてやけどをする原因になります。またグリル皿過熱防止センサーが正しく働かず発火する場合があります。



■グリル皿の持ち運びは正しいに

使用中、使用直後はグリル皿にたまった脂が高温になっています。こぼすとやけどをする原因になります。



■排気口に手や顔などを近づけない

排気口から高温の排気が出ています。やけどやなべの取っ手が過熱され取っ手を焼損する原因になります。



■バーナーキャップ水洗い後は、よく水気を切る

水分が残ったままセットすると点火不良や不完全燃焼になります。



■落ちやすいものがあるところには設置しない

機器の上に物が落ち、燃えて火災になることがあります。



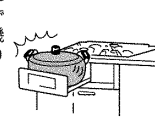
■グリル庫内や本体内部をお手入れする時は、ガス栓(ねじガス栓)を閉め、本体がさめてからけがをしないように手袋などはめて行う

突起部などに当たるやけどをする恐れがあります。



■グリルとびらに重いものをのせたり、強い力を加えない

グリルとびらはすれ、けがの恐れや機器損傷の原因になります。



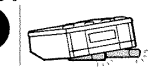
■強い風の吹き込む場所や機器本体後方から風が吹き込む場所では使用しない

機器内部を焼損したり、安全装置が正しくはたらかなかったり、点火不良となることがあります。扇風機や冷暖房機器を使用される場合、風が直接この機器に当たらないようにしてください。



■丈夫で水平な場所に設置する

車庫、船舶での使用はしない。不安定で傾いたところに設置すると、なべが落ちたりしてけがややけどをすることがあります。また、使用中に機器が傾いたりして、火災ややけどの原因になります。



お願い

- 使うバーナーの操作ボタンを間違えないよう注意してください。
- みそ汁を温めなおすときは火力を弱めにし、よくかき混ぜながら温めてください。
強火で急に温めなおすとなべ底に沈んだみそが突然噴き上がり、みそ汁が飛びちったり、鍋がはねあがってびっくりかえることがあります。特に、だし入り豆みそ(赤みそなど)に注意してください。
- グリル皿は急冷しないでください。
使用直後、グリル皿に水をかけると変形することがあります。グリル皿が冷えてからお手入れしてください。
- 使用中に、ガス栓(ねじガス栓)を操作しての消火はしないでください。
- 点火操作を繰り返す時は、周囲やグリル庫内の生ガスがなくなるまで待つ。
たまったガスに爆発着火する恐れがあります。グリルはとびらを開けて空気を入れ替えてください。
- 本機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。
そのままにしておきますと思わぬ事故になります。

安全上のご注意

天ぷら油過熱防止機能付バーナーについて 13

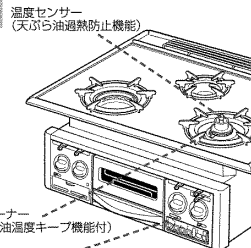
温度センサー付バーナー

標準バーナーが天ぷら油過熱防止機能付になっています。天ぷら油過熱防止機能とは、天ぷら、フライなどの揚げ物の調理で、消し忘れなどによる調理油の異常過熱を防止する機能です。温度センサーでなべ底の温度を監視し、油が自然発火温度に達する前に自動的にガスを止めます。

このとき、ブザーが鳴ってお知らせします。

また、天ぷら油温度キープ機能付のため天ぷら、フライなどの揚げ物の調理時の油の温度を一定に保つことができます。揚げ物の調理の際にご使用ください。

※天ぷら油過熱防止機能がついているバーナーは右図のよう
に前面パネルに **揚げもの用** と表示してあります。



揚げもの用

警告

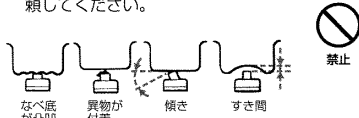
耐熱ガラス容器、土なべなど、熱が伝わりにくい もので油料理はしない

天ぷら油過熱防止機能が動かず、やけどや火災の原因になります。



温度センサーの上面となべ底が密着し ていないときは使用しない

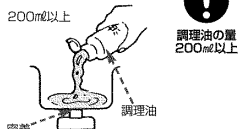
- ・そのまま使用すると調理油の量に関係なく発火することがあります。
- ・温度センサーの動きが悪くなり、なべ底と温度センサーが密着しない場合は、点検・修理を依頼してください。



標準バーナー (天ぷら油過熱防止機能付) で使用する調理油の量は200ml以上で行う

調理油の量が減ってきたり、はじめから少ないと発火することがあります。

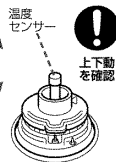
また200ml以上でもなべ底と温度センサーの上面が密着していないと発火することがあります。



注意

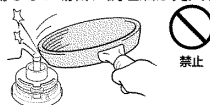
温度センサーは上下にスムーズに動く ことを確認する

なべ底と密着しなくなり調理油が発火する場合があります。また、動きが悪いとなべなどが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因になります。なべの重さは調理物を含め300g以上が必要です。



温度センサーに強いショックを加えたりキズをつけない

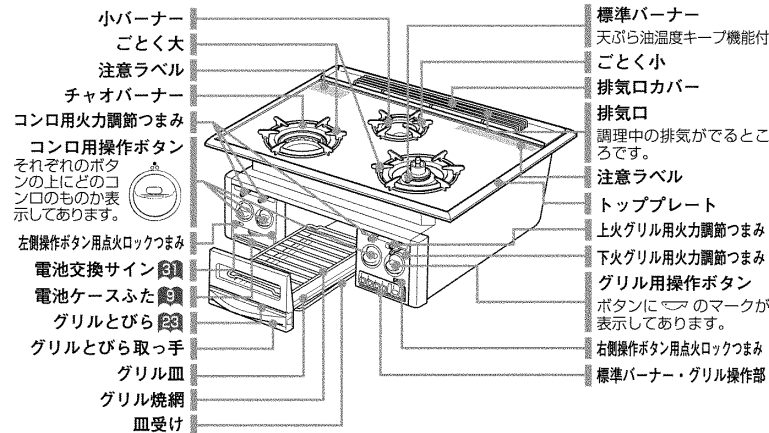
なべ底に温度センサーが密着しなくなり、温度センサーが正しく作動しない場合、調理油が発火することがあります。



● **揚げ物の調理をされるときは、必ず標準バーナー (天ぷら油過熱防止機能付) を使用する**



各部の名称と特長

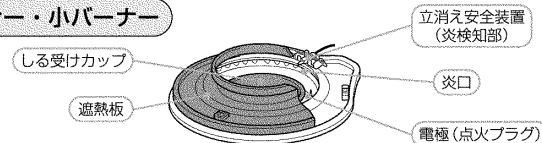


コンロ部

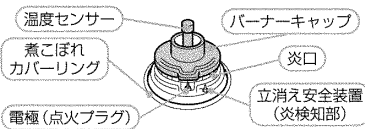
立消え安全装置 14

調理中、煮こぼれ等で火が消えると自動的にガスを止める安全機能です。

チャオバーナー・小バーナー



標準バーナー (天ぷら油温度キープ機能付)



天ぷら油過熱防止機能 14

天ぷら・フライなどの揚げ物を調理中、調理油が過熱されても、自然発火温度に達する前に自動消火します。



コンロ消し忘れタイマー 14

点火してから約2時間で自動消火し、消し忘れを防ぎます。



各部の名称と特長

標準バーナー・グリル操作部

炊飯表示ランプ
炊飯モード設定時に点灯します。

揚げもの設定温度表示ランプ
揚げもののモード設定時に設定された温度を点灯で表示します。

●200℃
●180℃
●160℃
揚げもの

●おかゆ
●洗米すく
●洗米おき
炊飯

●沸とう消火
●5分保温
湯わかし

●お知らせ
●消火
右コンロ
右コンロ
とりけし
タイマー

●グリル
●右コンロ
+
-
15
タイマー(分)

コンロタイマー表示ランプ
コンロタイマーモード設定時に点灯します。

湯わかし表示ランプ
湯わかしモード設定時に点灯します。

タイマー使用表示ランプ
表示されているタイマーがコンロかグリルか点灯で表示します。

タイマーセットキー
コンロタイマー及びグリル調理タイマーの時間をセットできます。
■グリル調理タイマー
1～15分までセットでき、設定時間になると自動消火します。

表示部 21 25
コンロタイマー及びグリル調理タイマーの時間を表示します。

とりけしキー 22
設定(モード)をとりけすときにキーを押します。

揚げものキー
揚げもののモード設定時に使用します。
■天ぷら油温度キープ機能 21
天ぷら・フライなどの揚げものを調理する時に油の温度を一定に保つことができます。キーを押すことにより160℃、180℃、200℃の3段階に温度を設定することができます。

湯わかしキー
湯わかしモード設定時に使用します。
■5分保温 20
沸騰後、自動的に小火になり、5分後に自動消火する機能です。
■沸とう消火
沸騰後、自動消火する機能です。

炊飯キー
炊飯モード設定時に使用します。
■炊飯機能 21
炊飯時に使用するモードです。別売の炊飯専用釜 21をお使いになると、上手に炊飯ができます。キーを押すことにより(洗米おき、洗米すく、おかゆ)の3つのモードに設定できます。

コンロタイマーキー
コンロタイマーモード設定時に使用します。
■消火 21
1～60分までセットでき、設定時間になると自動消火する機能です。
■お知らせ
1～60分までセットでき、設定時間になるとお知らせする機能です。(自動消火しません)

グリル部

水のいらない両面焼きグリル 23

グリル皿に水を入れずに使えます。また、上火・下火のセパレートスライドレバー調節で火加減の幅が広がりました。

グリル過熱防止センサー 24

魚などの調理物を入れないで空焼きした場合など、グリル庫内の温度が、異常に高くなった場合に自動消火します。

立消え安全装置 25

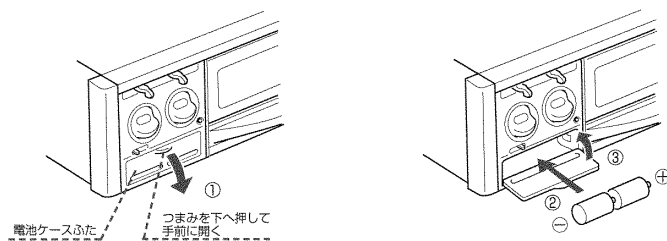
グリルとびら 26

- グリルとびらを引き出すとグリルとびらが下降します。焼きものの出し入れの時、熱くなったグリルとびらに手が触れにくくなりました。
- グリルとびらが下がるため、焼きものの出し入れも簡単になりました。
- グリル皿、グリルとびらもワンタッチで取りはずせ、お手入れも簡単にできます。

準備をしましょう

乾電池のセット(アルカリ乾電池を使用)

電池ケースはパネル前面にあります。⊕ ⊖ 方向を確かめて乾電池をセットしてください。



乾電池の取り付け手順

- ① 電池ケースふたのつまみを下へ押して手前に開いてください。
- ② 単1形乾電池(1.5V)2個を図のように正しくはめ込んでください。
- ③ 電池ケースふたを元に戻してください。

お願い

- 付属の乾電池は、工場出荷時に納められたもので自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。
- 乾電池の寿命は、アルカリ乾電池の場合、通常の使い方では約1年を目安にしてください。アルカリ乾電池以外の乾電池を使用すると寿命が約半分にになります。
- 乾電池は必ず2個とも同種類の新品をお使いください。
(新旧、異種の乾電池を使用されますと乾電池が破損したり、液漏れの原因となります)
- 電池交換は、機器本体が冷えてから行ってください。

点火ロックの使い方

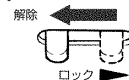
操作ボタンをロックさせる機構です。点火ロックつまみは左右2箇所にあります。右側の操作ボタンは右側の点火ロックつまみ、左側の操作ボタンは左側の点火ロックつまみでそれぞれロックさせてください。

ロックをかけるには

1. ロックする側の操作ボタン(2箇所)が消火の位置にあることを確認してください。
2. 点火ロックつまみをロックの位置(右方向)にスライドしてください。

ロックを解除するには

点火ロックつまみを解除の位置(左方向)にスライドしてください。



お願い

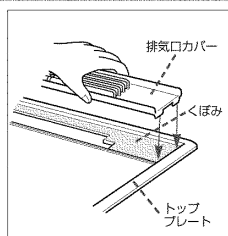
1. ロックする側の操作ボタン(2箇所)の片方が点火の位置にあるとロックできません。
2. ロック状態のときに、操作ボタンを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。

準備をしましょう

各部品のセット

排気口カバー

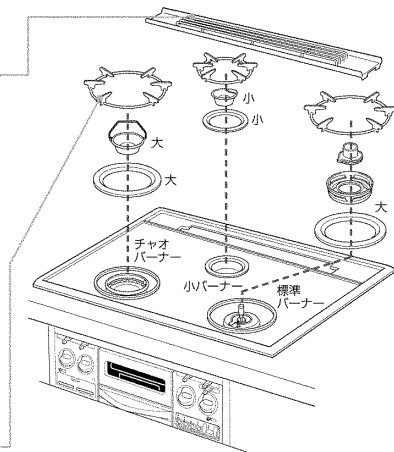
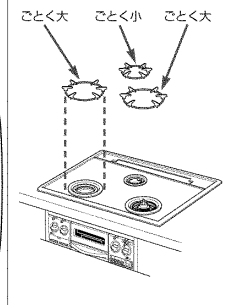
排気口カバーのツメをトッププレートにセットしてください。



ごとく

ごとくは、右図のように煮こぼれカバーリングの外側にセットしてください。

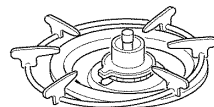
ごとくのツメの位置決めはありませんがツメが手前になるようにセットすることをおすすめします



⚠️ 注意

■ごとくは正しくセットする

誤ったセットをするとなべなどが不安定になり、かたむいたり、倒れたりします。



■ごとくをはずして直接なべを置いて使用しない

不完全燃焼による一酸化中毒や異常過熱による火災や機器焼損の原因となります。

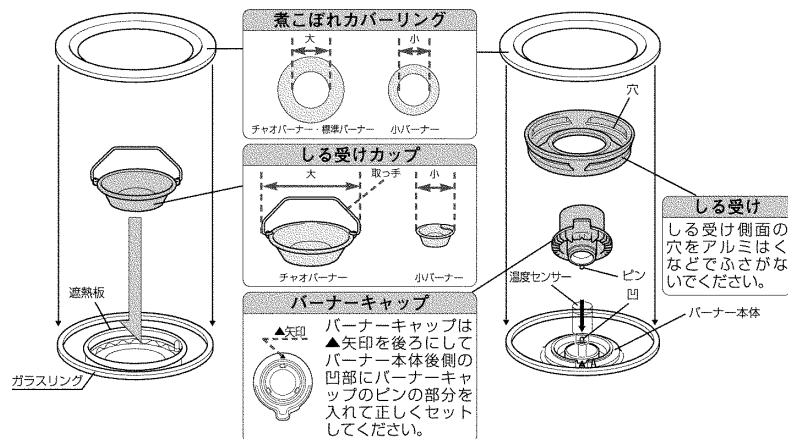
準備をしましょう

煮こぼれカバーリング・しる受けカップ・しる受け・バーナーキャップ

●下図のように各部品を正しくセットしてください。

チャオバーナー・小バーナー

標準バーナー



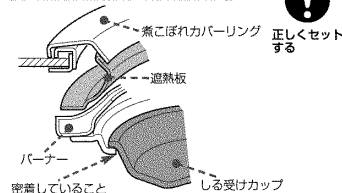
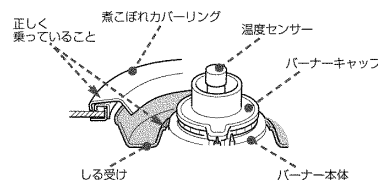
⚠️ 注意

■煮こぼれカバーリング・しる受けカップ・しる受け・バーナーキャップは正しくセットする

バーナーの炎がしる受けカップやトッププレートの下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。

標準バーナー (天ぷら油過熱防止機能付)

チャオバーナー・小バーナー



お願い

- バーナーキャップをセットしたときは必ず正常に燃焼しているか確認してください。
- バーナーキャップは消耗品です。薄くなったり変形して炎がふそろいになった場合は交換が必要です。お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへ相談してください。

●コンロをお使いになる前に

コンロの上手な使い方

炒めもの



煮もの



煮込み



強火で手早く

火力の強いチャオバーナーが便利です。

強火から中火に

強火で煮立てて、後は中火で煮ましょう。沸騰したら煮こぼれに注意してください。炎が消えていなくなるときき確認をお忘れなく。

弱火で長時間

煮込めば煮込むほど味わいが深まる煮込み料理。弱火でじっくり煮込みましょう。ときどきかきまぜて焦げつきを防いでください。

用途に応じてバーナーを使用しましょう

チャオバーナー

- ・大量の煮もの・煮こみ料理
- ・強い火力を必要とする調理
- ・焼きもの料理や炒めもの料理など高温を必要とする調理
- ・冷凍食品の加熱調理

標準バーナー (天ぷら油過熱防止機能付)

- ・天ぷら、フライなど揚げもの調理
- ・炊飯
- ・煮もの、煮こみ料理

小バーナー

- ・コーヒーの保温や弱い火力を必要とする調理

こんなときにはコンロを使いわけてください。

1. 炒めもの料理などで、途中消火する場合はチャオバーナーを使う

●標準バーナーには、天ぷら油過熱防止機能が付いており、なべ底の温度が設定温度になると自動消火します。このため焼きもの料理や炒めもの料理など、高い温度を必要とする調理では、途中で消火してしまうことがありますので、チャオバーナーをご使用ください。

2. 冷凍食品の加熱調理で、途中消火する場合はチャオバーナーまたは小バーナーを使う

●冷凍食品(うどん、そばなどのなべ付きの冷凍インスタント食品、カレー、シチューなど、なべごと凍らせた場合など)は、温度上昇が遅いため温度センサーが正しく働かず消火することがあるので、チャオバーナーまたは小バーナーをお使いください。

3. 揚げものの調理をする場合は標準バーナーを使う

●揚げものの調理をされるときは、標準バーナーの揚げもののモード(天ぷら油温度キープ機能)をご使用ください。温度設定をすると、設定温度を一定に保つことができます。P13

お願い

- 煮こぼれに注意してください。
機器内部および下方のキャビネット内ものなどが汚れます。
・トッププレート・ごとき・煮こぼれカバーリングなどに煮こぼれが焼きついたり、機器を早くいためます。煮こぼれた場合は「日常の点検とお手入れ」P24を参考にしてお掃除してください。
- 使用中はときどき炎の確認をしてください。
点火、消火時だけでなく、使用中もときどき正常に燃焼しているか確認してください。
- コンロで焼網は使わないでください。
ごときやバーナー部を早くいためます。
- なべは不安定な状態で使わないでください。
なべの種類によっては、傾いたり、すべりやすいものがあります。不安定な状態で使わないでください。中華なべなど底の丸いなべは、必ず取っ手を持ちながら調理してください。小さななべは小バーナーをご使用ください。

立消え安全装置

立消え安全装置とは？

風や、煮こぼれなどで火が消えると、自動的にガスを止める安全装置です。(標準バーナー及びグリルの場合はプザーでお知らせします)

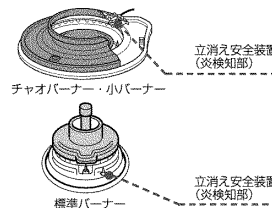
立消え安全装置が作動したら

■使用中、火が消えたときは

安全装置が働いてガスが止まるまですこし時間がかかります。消火に気づいたときは、すぐに操作ボタンを押して消火の状態にしてください。

■再点火するときは

周囲の生ガスがなくなるまでしばらく待って、立消え安全装置(炎検知部)の汚れをふきとってから再度点火操作を行ってください。



お願い

- 立消え安全装置(炎検知部)に水滴や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったり、消火することがあります。なべの底についた水滴はふきとってから、ごときの上にのせてください。(煮こぼれにも注意してください)
- 立消え安全装置(炎検知部)に固いものをぶつけないでください。まがったり、変形すると点火しにくくなります。

天ぷら油過熱防止機能(標準バーナーのみ)

天ぷら油過熱防止機能とは？

天ぷら、フライなどの揚げものの調理中、温度センサーでなべ底の温度を監視し、万一異常過熱した場合には、油が自然発火温度に達する前に「強火」↔「弱火」をくり返し、消火や油が発火しないように自動的に火力調節し、この状態が約5分続くと、自動消火し、プザーでお知らせする機能です。(油から煙が出る場合があります)

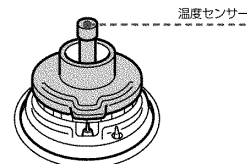
天ぷら油過熱防止機能が作動したら

■使用中、火が消えプザーが鳴ったときは

すぐに操作ボタンを押して消火の状態にしてください。

■再点火するときは

なべや油が相当熱くなっていますのでやけどに十分注意して、水を入れたなべや水に浸した布などで温度センサーを冷やしてください。熱いなべをのせたまま、再点火すると消火する場合があります。



- ソーセージ、ポークソテー、ホイルのつつみ焼きなど、から焼きに近い調理は天ぷら油過熱防止機能が働き、消火することがあります。火力を絞るか、なべの中央部などセンサーの位置に材料を置くと消火を防ぐことができます。
- かきもち揚げなど高温で長時間使用する調理は、天ぷら油過熱防止機能が働き、消火することがありますので揚げもののモードをお使いください。P13
- 野菜炒めやチャーハンなど、なべをふる調理で、あまり長くふると消火することがあります。
- どうしても消火するときは、チャオバーナーを使用してください。

△注意

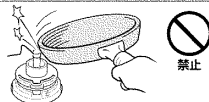


●揚げものの調理をされるときは、必ず標準バーナー(天ぷら油過熱防止機能付)を使用する

△ 注意

■ 温度センサー部に強いショックを加えたり、キズをつけたりしない

なべ底と密着しなくなり、温度センサーの機能が動かず、やけどや火災の原因になります。



○ お願い

センサー部はいつも清潔にしてください。センサー部には煮汁や水などをかけないでください。もし、煮汁やゴミが付着したときは、水を浸し固くしぼった布でふきとってください。また、なべややかんの底も清潔にしてご使用ください。


コンロ消し忘れタイマー(標準バーナーのみ)

消し忘れを防止するために、点火してから約2時間たつと自動消火し、ブザーでお知らせする機能です。

消し忘れタイマーが作動したら

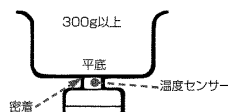
- 使用中、火が消えブザーが鳴ったときは
すぐに操作ボタンを押して消火の状態にしてください。
- 再度点火するときは
再度点火操作を行ってください。

標準バーナー(天ぷら油温度キープ機能付)の使い方

天ぷら油過熱防止機能  を正しく働かせるために以下の内容をお守りください。

調理油の量

200ml以上で使用してください。少ないと温度センサーが正しく調理油の温度を測定できません。(調理油が着火する恐れがあります)



なべの重さとのせかた

なべの重さは調理物の重さを含め300g以上が必要です。できるだけ底が平らな金属製のなべを使い、なべ底の中心が温度センサーの上面に密着するよう、正しくセットしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。

温度センサーに適したなべ

なべなどの種類	油料理	その他料理(煮ものなど)	備考
鉄やアルミ製のなべ・天ぷらなべ・フライパン	○	○	油料理をする場合に温度センサーが正しく作動しますが、油の量が200ml以下の場合着火することがありますので注意してください。
ステンレスやホーロー製のフライパン・なべ	×	○	油料理において温度センサーが調理油の温度を正確に読み取ることができず、油の量が200ml以上でも着火する場合があります。
中華なべ・打ち出しなべ	×	○	
耐熱ガラス容器	×	○	油料理には適していません。温度センサーが正確に働きませんので火をつけたままにしておくと着火します。油料理には使用しないでください。その他の料理(煮ものなど)では調理中に消火したり焦げつきがひどくなる場合があります。
土なべ	×	○	
無水なべ・多層なべ・圧力なべ	無水料理 — 無水料理以外	— ○	油の量が200ml以上でも着火する場合があります。また、無水料理においてセンサーが正確に動きが止まる場合がありますのでチャオバーナーで火力を弱火にして調理してください。その他の料理(煮ものなど)では調理中に消火したり焦げつきがひどくなる場合があります。
焼網	—	×	温度センサーが正確に動きませんので消火する場合があります。

○：適する ×：適さない

△ 警告



- 温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない
そのまま使用すると調理油が着火することがあります。



- 調理油の量は200ml以上で行う
調理油の量が減ってきたり、はじめから少ないと着火することがあります。



- 温度センサーの動きが悪くなり、なべ底と密着しない場合には、点検・修理を依頼してください。

炊飯機能(標準バーナーのみ)

この炊飯機能には、炊飯前にお米を水に浸しておいてから炊飯する「洗米おき」モードと、お急ぎの場合には洗米してからすぐに炊飯できる「洗米すぐ」モードと、さらに「おかゆ」モードがあります。炊飯機能でおいしく炊飯するために以下の内容を行ってください。

● お米の準備

洗米



- 「洗米おき」、「洗米すぐ」モードの炊飯量は1合～5合です。5合を超える炊飯量の場合は、炊飯できません。
- お手持ちの計量カップ(180ml用)でお米を正しく計り、ごみ、ぬかなどを洗い流しながら手早くとぎあげます。一度水につけたお米は砕けやすくなります。砕け米・粉米などが混じって炊飯されると風味を損ね、炊きむら、着色の原因となります。
- 無洗米をご使用の場合は表面の米粉を洗い流してください。米粉が底にたまりと生炊けの原因になります。またお米には気泡が付着していますので水を入れたら底の方からやさしく数回かきまわしてください。

●「洗米おき」、「洗米すぐ」モードの場合

水加減

米180㎖	→ 1 合 (150g) に対し	水約300㎖
米270㎖	→ 1.5 合 (225g) に対し	水約390㎖
米360㎖	→ 2 合 (300g) に対し	水約480㎖
米450㎖	→ 2.5 合 (375g) に対し	水約580㎖
米540㎖	→ 3 合 (450g) に対し	水約670㎖
米720㎖	→ 4 合 (600g) に対し	水約930㎖
米900㎖	→ 5 合 (750g) に対し	水約1130㎖

炊飯前にお米を水に浸しておく時間

	春～夏	秋～冬
白米	30分以上	60分以上
胚芽米	60分以上	90分以上
精米		
輸入米		
古米		

●「おかゆ」モードの場合

「おかゆ」モードはお米からおかゆをつくる機能です。炊きあがったごはんからおかゆをつくる場合は、自動判別モード（とりけしキー）で手動にて調理してください。

水加減

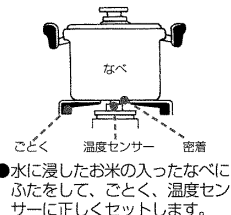
	全がゆ	7分がゆ
米45㎖	→ 0.25 合 (38g) に対し	水約360㎖
米90㎖	→ 0.5 合 (75g) に対し	水約540㎖
米180㎖	→ 1 合 (150g) に対し	水約900㎖

※全がゆで1 合（約4～5人前）、7分がゆで0.5 合（約2～3人前）まででご利用ください。それ以上の合数の場合、うまくできない場合があります。

●炊飯に適したなべ

なべ	洗米おき	洗米すぐ	おかゆ	備 考
別売の炊飯専用なべ	○	○	○	炊飯専用なべの取扱説明書をよくお読みください。
アルミ製なべ	○	○	○	薄手の場合は焦げつきやすくなります。
ホーロー、ステンレス製のなべ	○	×	○	洗米すぐの場合は焦げつく場合があります。
土なべ、ガラスなべ	×	×	○	なべの形状によっては吹きこぼれたり、うまくできない場合があります。

●なべのセット



●水に浸したお米の入ったなべにふたをして、ごとく、温度センサーに正しくセットします。

お願い

- 温度センサーの上面に水、米粒などの異物がないことを確認して、なべ底の中心が温度センサーの頭部に密着するよう正しくセットしてください。
また、安定性の悪いなべは使用しないでください。
- 2度炊きやあたためおしは自動消火しないため焦げつきます。

- 水加減は目安です。新米・古米またはかため、やわらかめなど好みによって水を加減してください。
- 無洗米の場合は、すこし水を多め（約3%）に入れてください。
- 炊き込みご飯の場合は、お米と具を加えた重量に対して水を加えます。
- 別売の炊飯専用釜（図3）では、5合まで炊飯することができます。但し米の質、水量などによってふきこぼれがひどくなる場合があります。

1. 「洗米おき」モードの場合

- 水加減後、必ずお米を水に浸してから炊飯します。

2. 「洗米すぐ」モードの場合

- お急ぎの場合等、洗米してから水加減後すぐに炊飯します。



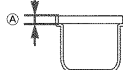
- 古米や麦ごはんなどは60分以上水に浸してから「洗米おき」モードで炊飯してください。
- 洗米後、すぐに炊飯しない場合は、必ず30分以上水に浸してから「洗米おき」モードで炊飯してください。



- 水のかわりにだし汁やお茶を使ったおかゆもできます。
- 加熱途中でかき混ぜすぎると米粒がつぶれ粘りが出たり、焦げつきやすくなります。
- 最初から食塩を加えると、米粒がつぶれ、のり状になるので、出来上がる直前が良いでしょう。



- こんな場合はご飯が固くなったり、焦げたりします。
 - ふたとなべにすきまがある（蒸気が抜ける）場合
 - ふたが軽い場合
 - なべが浅い場合
 - ふきこぼれた場合
- なべの端A部の高さが低い場合は、吹きこぼれやすくなります。
- 「おかゆ」モードで吹きこぼれる場合は、ふたをすずしたり、もちあげるなど工夫してください。またふたをすずす場合は、水の量を一覧表よりやや多めにしてください。



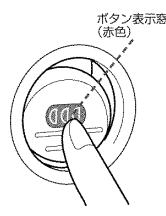
●コンロの使いかた

操作の手順

1 準備



2 点火



標準バーナーには消し忘れタイマーがついていますので、約2時間連続使用すると自動消火します。図4

- 機器下方のキャビネット内にあるガス栓（ねじガス栓）を全開にします。
- 点火ロックつまみを左へスライドさせ点火ロックを解除します。図3

- 操作ボタンをいっぱい押ししてください。火力調節つまみの位置が「弱」のとき操作ボタンを押すと「強」の方向に移動します。ただしチャオバーナーは中火点火式のため、他のコンロと違い火力調整つまみが「中火」の位置に移動しますので強めに押ししてください。
- バーナーへ火移りしたことを確かめてから数秒間（立消え安全装置が働くまで）そのまま押し続けてください。（途中で手を離したり、押す力が弱いと、一旦点火しても消火する場合があります）



- すべてのコンロとグリルが同時に放電します。これは全火力放電の構造となっていますので異常ではありません。
- 万一点火しないときは、操作ボタンを一旦消火の状態に戻し、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をしてください。
- 長期間使用していなかったり朝一番などはじめて点火するとき、ガス管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。

3 火力調節



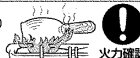
●火力調節つまみを左右にゆっくりスライドさせ火力調節します。



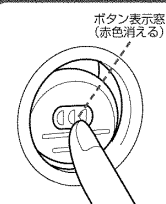
- 早くスライドさせると消火したり、炎が一瞬大きくなります。ゆっくり火力調節してください。
- 弱火にしたとき、機器下方のキャビネットとびらを早く開閉すると消火することがあります。

△注意

なべによっては、取っ手を焼損する恐れがありますので必ず炎の大きさを見て火力を調節してください。



4 消火



●操作ボタンを押して必ず火が消えたことを確認してください。

△注意

使用中、使用直後はグリルとびら取っ手・操作ボタン・操作部・火力調節つまみ以外の部分は高温ですのでさわらないでください。



- コンロバーナーは消火時にボンという音がする場合ありますが、これは火が消えた時の音で異常ではありません。
- 機器内部（バーナー周辺部）が赤く見えることがありますが、これは室内灯などの光がガラスを透過した時の色です。

お願い

炎の形や色は？

炎が異常に大きかったり、変な音をたてていませんか？炎が赤かったり、すすがついたり、ふぞろいで音をたてたりするときは、バーナーキャップや煮こぼれカバリングのセットが正しくされていないことが考えられます。お手入れ後などは正しくセットするように気をつけましょう。図11

標準バーナー操作部の使い方



揚げもののモード(天ぷら油温度キープ機能)

1. 点 火

標準バーナーの点火操作をします。

- 火力は全開でお使いください。



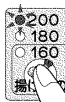
2. モード設定

揚げもののキーを押します。
●揚げものの設定温度表示ランプが点灯します。
※揚げもののキーの1回目の操作時は、180℃に設定されてます。



3. 温度セット

揚げもののキーを押して温度を合わせます。
●揚げもののキーを1度押すごとに、180℃→200℃→160℃というように温度が切り替わります。
●調理の途中でも設定温度〈調理の目安〉を変えることができます。



160℃	とりのからあげ、フリッター、ドーナツ
180℃	天ぷら、コロッケ、フライ、とんかつ
200℃	クルトン、かきもちあげ

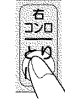
4. 調 理

①油が設定された温度になるとブザーで「ピピピッ」とお知らせします。
②調理を始めてください。
●あとは自動的に火力調節して油の温度を設定温度に保ちます。



解除するとき

とりけしキーを押します。
●揚げもののモードが取り消されます。



●揚げもののモードの温度は、天ぷら用鉄製なべで設定してあります。なべの種類や厚さ、油の量などによって多少設定した温度と異なる場合がありますので設定温度を加減してお使いください。
●油の量は0.8〜1ℓが適量です。油量が多いと設定温度より低めに、少ないと高めに温度制御します。



炊飯モード

1. 点 火

標準バーナーの点火操作をします。



2. 火力調節

火力調節つまみを右にゆっくりスライドさせ炊飯位置に合わせます。



●炊飯位置に合わせないと、吹きこぼれたり、上手に炊飯できません。

3. モード設定

炊飯キーを押します。
●洗米おきモードに設定され、洗米おきランプが点灯します。
※炊飯キーを押すごとに 洗米おき→洗米すく→おかげ というように



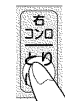
モードと炊飯表示ランプが切り替わります。
●炊飯の途中からのモード切り替えはできない場合があります。
●火力調節つまみを炊飯位置に設定後、できるだけ早く炊飯キーを押して炊飯モードにしてください。
●「洗米おき」モードで3合(450g)炊飯の場合、通常で約20分で炊き上がります。
●「おかげ」モードの場合、約40〜50分で炊き上がります。

4. 炊 飯

①炊き上がりますと、自動で消火し、炊飯完了をブザーで「ピー」とお知らせし、炊飯表示ランプが点滅しますので必ず操作ボタンを押して消火の状態に戻してください。
②炊き上がり後は必ずそのまま10〜15分程度待ちます。
●むらしが終わるまでふたを開けないでください。
●むらし後、ご飯をほぐしながらよくかき混ぜてください。
余分な水分が逃げ、ご飯がおいしくなります。
(「おかげ」モードの場合はむらしの必要はありません)

解除するとき

とりけしキーを押します。
●炊飯モードが取り消されます。



●別売の炊飯専用釜 をお使いいただくと上手に炊飯することができます。
●炊き上がりは、お米の種類、水の量、水に浸す時間などにより変わります。お好みに応じて工夫してお使いください。

湯わかしモード

①. 点 火



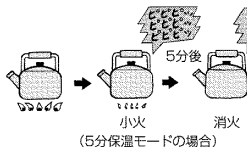
- 標準バーナーの点火操作をします。
●火力は全開でお使いください。

②. モード設定



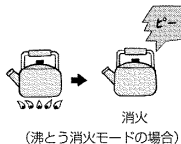
- 湯わかしキーを押します。
●5分保温モードに設定され、湯わかし表示ランプが点灯します。
※湯わかしキーを押すごとに「5分保温→沸とう消火」というようにモードと湯わかし表示ランプが切り替わります。

③. 沸 とう



5分保温モード

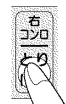
- ①沸とう温度になるとブザーで「ビビビッ」とお知らせし、小火になります。
- ②そのまましておきますと5分後にブザーで「ピー」とお知らせし、湯わかし表示ランプが点滅し、自動消火しますので必ず操作ボタンを押して消火の状態に戻してください。



沸とう消火モード

- ①沸とう温度になると、ブザーで「ピー」とお知らせし、湯わかし表示ランプが点滅し、自動消火します。
- 沸とうしてからブザーが鳴るまで、多少時間がかかる場合があります。
- 必ず操作ボタンを押して消火の状態に戻してください。

解除するとき



- とりけしキーを押します。
●湯わかしモードが取り消されます。



- 底の平らな金属製のやかんなべを使ってください。
●沸とうするまでの間は、ふたの開け閉めをしたり、中の水をかき混ぜたり、なべを動かしたり水や具を入れたりしないでください。温度センサーが正しく働かない場合があります。
●一度沸かしたお湯(約70℃以上)を再び湯わかしモードで沸かすと、100℃になる前に沸とうしていると判断する場合があります。
●なべの材質、水量により沸とうのお知らせが2〜3分遅れる場合や、100℃より低めで沸とうしたと判断する場合があります。またふきこぼれる場合があります。

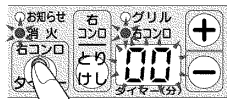
コンロタイマーモード

①. 点 火



- 標準バーナーの点火操作をします。
●火力は調理にあわせてお使いください。

②. モード設定



- コンロタイマーキーを押します。
●コンロ消火タイマーモードに設定され、コンロタイマー表示ランプ(消火)およびタイマー使用表示ランプ(右コンロ)が点灯し、表示部に「00」が点滅します。
※コンロタイマーキーを押すごとに「消火→お知らせ」というよう

にモードとタイマー表示ランプが切り替わります。

消火モード

設定時間になるとブザーでお知らせし自動消火します。

お知らせモード

設定時間になるとブザーでお知らせします。(自動消火しません)

③. 時間セット



- タイマーセットキー(＋キー、－キー)を押して時間をセットします。
●1〜60分まで1分刻みでセットできます。
●キーを押し続けると5分刻みに進みます。
●時間セットをしない場合約15秒後にブザー「ピー」×3回でお知らせします。さらに時間セットしない場合は自動消火します。
(コンロお知らせタイマーの場合は自動判別モードに変わります)
●調理中にタイマーセットキーを押すと、設定時間が変更できます。

④. 調理終了



- 調理終了30秒前になるとブザーが「ビビビッ」と3回鳴ってお知らせすると同時に秒表示に変わります。

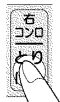


- 設定時間終了するとブザーで「ピー」とお知らせし、自動消火します。
(コンロお知らせタイマーの場合は自動消火しません)
●自動消火したらすぐに操作ボタンを消火の位置に戻してください。



- コンロお知らせタイマーは、標準バーナー使用中しか働かせません。

解除するとき



- とりけしキーを押します。
- コンロタイマーモードが取り消されます。

コンロタイマーとグリルを同時にお使いの場合(表示部)

グリルタイマー表示中



- コンロタイマーモード使用中にグリルを使用すると、表示部にはグリルのタイマー表示が優先されます。(グリルランプが点灯し、グリルのタイマー表示していることを示します)
- グリルが先に消火した場合は自動的にコンロタイマー表示に変わります。

コンロタイマー表示を確認するとき

コンロタイマー表示中



コンロタイマー表示に切り替え

↓約5秒

グリルタイマー表示中



- コンロタイマーキーを押します。
- グリルランプが消え右コンロランプが点灯し、コンロタイマー表示に切り替わります。設定時間を変更したい場合もコンロタイマーキーを押し、コンロタイマー表示にしてからタイマーセットキーを押して時間を変更してください。
- コンロタイマー表示は約5秒続くと、自動的にグリルのタイマー表示に切り替わります。

●グリルをお使いになる前に

本機器はグリル皿に水を入れる必要がないタイプですので、グリル皿に水を入れずに使用してください。

から焼きをしましょう

グリルをはじめとお使いになる場合は必ず5分くらいから焼きをしてください。部品に付着した加工油を焼き切るため、このとき煙がでますが異常ではありません。から焼き時にグリル過熱防止センサーが作動し、自動消火する場合があります。自動消火した場合は、しばらく待ってから点火操作をしてください。(約3分程度)

△注意

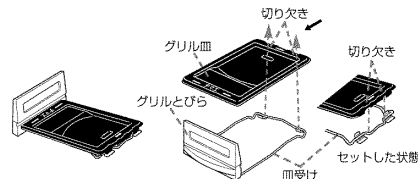


■から焼きするときはグリル庫内に異物がないことを確認して使用する

グリルとびらの出し入れについて

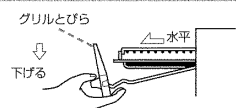
セットのしかた

- グリル皿の後部2カ所の切り欠きに、皿受け後部の棒が入るように「デマエ」刻印を手前にしてセットしてください。



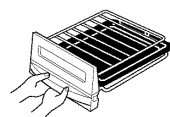
引き出しかた

- グリルとびらを水平に止まるところまでゆっくりいっばいに引き出すと、グリルとびらのみ下がりが、グリル皿はそのままの状態です。焼きものの出し入れ、確認が容易にできます。



取り出したり持ち運ぶとき

- グリル皿を取り出すときは、グリルとびらを止まるところまでいっばいに引き出し、両手で持ち上げて引き出してください。あまり強く持ち上げると、グリル皿のフッ素コートに傷がつく場合があります。
- お手入れの際は、グリルとびらを別の場所においてからグリル皿をはずして洗ってください。



△注意



グリルとびらを持ち上げて引き出すと途中で止まらずにグリル皿が脱落する場合があります。またグリルとびらを引き出したから急に手を離すとグリル皿の脂がこぼれてやけどをする場合があります。



グリル使用中、使用直後はグリル皿、皿受け、グリルとびらなどは熱くなっていますので直接手で触れたりしないでください。また、熱くなったグリル皿を持ち運ぶときは、グリルとびら取っ手以外には手を触れないよう注意してください。

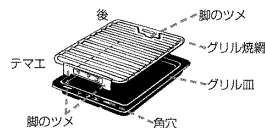


グリル皿を直接持って取り出すと、グリルとびらが落下しけがや やけどをすることがあります。必ずグリルとびら取っ手を持って取り出してください。

グリルで上手に焼くには

グリル焼網のセット

グリル焼網をグリル皿にセットする際、テマエと後の向きをまちがえないようにグリル焼網のツメをグリル皿の角穴に確実にセットします。



魚焼きのこつ

- 魚は水洗いしたらよく水をふきとります。
- こげやすい部分やヒレなどには厚めに塩をふりかけておくか、アルミはくで包んでおくことこげ方が少なくなります。
- 塩をふったら、おいしさが逃げないうちに焼きます。
- 魚など1尾だけ焼く場合は、グリル焼網の中央はさけてください。右図の□印のところが上手に焼けます。



予熱後グリル焼網に油

あらかじめ、1分程予熱した後、グリル焼網にサラダ油などを塗っておきますと、焼き上がり後、材料が焼網に付着しにくく取り出しやすくなります。



お願い

- このグリルは両面式ですから基本的に裏返すする必要はありませんが、表と裏の焼き色が同じになるとは限りません。上火、下火それぞれの火力調節 ④ を利用してお好みの焼き色にしてください。

警告



■排気口をふさがない

排気口上部をアルミはく・ふきんなどでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。

■グリルを続けて使用する場合は、そのつどグリル皿にたまった脂などを取り除く また使用後も必ず掃除する

続けて使用するときはそのつど脂を取り除いてください。
ご使用ごとにこまめに掃除しないと、魚や肉から落ちた脂が燃える恐れがあります。

注意



■グリルとびらを開けたままグリルを使わない

グリルとびらを開けたままご使用になると、本体上部が変色したり、ワークトップをこがす恐れがあります。

■グリルとびらガラスに水をかけない

グリルとびらガラスが熱いときに水がかかかると割れる恐れがあります。

■グリル皿に水を入れない

グリル皿が浅くなっているためこぼれてやけどをする原因になります。
またグリル過熱防止センサーが正しく働かず発火する場合があります。

グリル過熱防止センサー

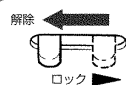
魚などの調理物を入れないで空焼きした場合など、グリル庫内の温度が異常に高くなった場合に自動消火します。また3回、4回と連続で使用した場合や、使用中時間を忘れて焼きすぎた場合にもグリル過熱防止センサーは作動し、自動消火します。(消火と同時にブザーが「ピー」と5回鳴ります。)

グリル過熱防止センサーが作動したら

グリル庫内の温度がある程度下がるまで使用できない機能になっていますので、約3分程度待ってから点火操作をしてください。

操作の手順

① 準備



- 機器下方のキャビネット内にあるガス栓(ねじガス栓)を全開にします。
- 点火ロックつまみを左へスライドさせ点火ロックを解除します。⑨
- グリル皿には水を入れないでください。
・続けて使用する時は、そのつど脂を取り除いてください。

注意



■グリル焼網の上や下にアルミはくなどを敷かない

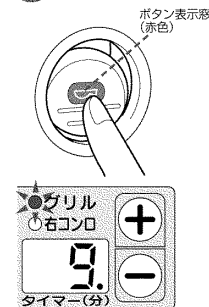
アルミはくなどに脂がたまり燃える恐れがあります。



■庫内に不要な物がないことを確かめる

グリル使用時は、グリル庫内に異物がないことを確認してから行ってください。

② 点火



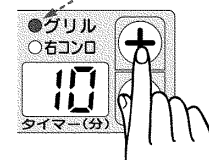
- グリルとびらを開けてください。
- 操作ボタンをいっばいに押してください。
- バーナーへ火移りしたことを確かめグリル調理タイマー表示部「9」が点灯したら手を離してください。
- 上火用火力調節つまみの位置が「弱」の時、操作ボタンを押すと「強」の方向に移動します。



- 続けて使用する場合のようにグリル庫内の温度がある程度上がっている状態のときは、表示窓には「5」が表示されます。またタイマーセットは最大10分までとなります。
- すべてのコンロとグリルが同時に放電します。これは全電力放電の構造となっていますので異常ではありません。
- 万一点火しないときは、操作ボタンを一旦消火の状態に戻し周囲のガスがなくなってから再び点火操作をしてください。
- 長期間使用していなかったり朝一番などはじめて点火するときは、ガス管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。
- グリルバーナーは赤外線バーナーのため着火までに多少時間がかかります。

③ 時間セット

グリルタイマー表示中



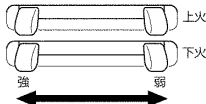
- タイマーセットキー(+キー、-キー)で加熱時間をセットします。
(+キーで最大15分(庫内温度がある程度上がっている場合は10分)、-キーで最小1分までセットすることができます。)
- 加熱時間をセットしない場合は、点火時の9分後(庫内温度がある程度上がっている場合は6分後)に自動消火します。
- 調理中にタイマーセットキー(+キー、-キー)を押すと、加熱時間が変更できます。
- 加熱時間の目安は付属のクッキングブックをごらんください。



- 表示部には、グリル調理タイマーとコンロタイマーの両方を表示しますので、グリルランプが点灯しているのを確認して時間セットしてください。
- 表示部は、グリルのタイマー表示が優先されますので、コンロタイマーの表示を確認したい場合は②を参照ください。

使い方

4 火力調節

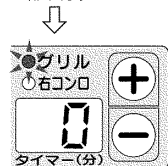


- 火力は、上火、下火それぞれ別々に調節できます。
- 火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせ火力を調節してください。「強」：強火になります。「弱」：弱火になります。

5 調理終了・自動消火



- 調理終了30秒前になるとブザー「ビビビ」が3回鳴ってお知らせすると同時に秒表示が変わります。



- 加熱時間が終了するとブザー「ビー」が1回鳴ってお知らせし、自動消火します。

6 操作ボタンを押す(手動消火)



- 操作ボタンを押すと表示部の表示が消え操作ボタンが戻ります。

⚠️ 注意



■ やけどに注意

使用中、使用直後は、グリルとびら取っ手・操作ボタン・操作部・火力調節つまみ以外の部分は高温ですのでさわらないでください。やけどをする恐れがあります。

- 自動消火したらすぐに操作ボタンを消火の位置にしてください。

日常の点検とお手入れ

⚠️ 警告



- 下記のお手入れする部品以外には、機器に手を加えない
- 絶対に分解しない

⚠️ 注意



- ・点検・お手入れは、必ずガス栓(ねじガス栓)を閉め、機器が冷えてから行ってください。また、けがをしないように手袋などははめて行ってください。(グリル庫内・排気口まわりは、特に注意してください)
- ・点検・お手入れ後は、機器内及びグリル庫内にふきん・紙類などが置き忘れているか確認してください。

日常点検をしましょう

部品が正しくセットされていますか？

- ・バーナーキャップ、煮こぼれカバーリング、しる受け、ごとく、排気口カバーなどは正しくセットされた状態でお使いください。

つまり、たまり、汚れはありませんか？

- ・バーナーの炎口が煮こぼれなどでつまっていますか。
- ・立消え安全装置(炎検知部)が煮こぼれなどで汚れていませんか。
- ・グリル皿に多量の脂がたまっていますか。

お手入れをしましょう

機器本体のお手入れ

- ・乾いた布でふいてください。
- ・汚れのひどいときは、中性洗剤(食器・野菜洗い用)で汚れをおとした後、乾いた布で水気を十分にふき取ってください。

お手入れのときは

使ってよいもの



台所用中性洗剤

使ってはいけないもの



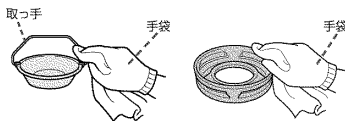
酸性、アルカリ性洗剤

お願い

- 表面に傷がつくことがありますから、金属たわしやクレンザーなどは使用しないでください。
- アルカリ性洗剤などを使用しますと機器の塗装がはがれる恐れがありますので使用しないでください。
- 中性洗剤を直接機器本体にかけずに必ず布に含ませてから使用してください。

しる受け・しる受けカップのお手入れ

取りはずして中性洗剤などで水洗いしたのち水気をふきとってください。
お手入れをしないと、よごれが焼きつくのでこまめにお手入れしてください。



お願い

- 使用後はしる受け・しる受けカップ、取っ手はあつくなっていますので、直接手を触れたりしないでください。お手入れの際は必ず冷えてから厚手の手袋をして行ってください。
- お手入れをする場合、特にチャオバーナー用しる受けカップは取り出す時に不安定ですので一度煮こぼれなどを、紙などで吸い取ってから取り出してください。

バーナー部分のお手入れ

バーナーの炎口が煮こぼれなどで目づまりしたり、汚れがひどい場合、炎が不ぞろいになったり、不完全燃焼したり、点火しないことがあります。炎口を細い針状のものできれいに掃除してください。



お願い

- 標準バーナーのバーナーキャップとバーナー本体の表面は黒色の塗装がしてあります。金属たわしや、ナイロンたわしなどの固いものは、表面の塗装を傷つけますので使用しないでください。また、アルカリ性洗剤を使用しますと色落ちしたり、塗装がはがれる恐れがありますので使用しないでください。但し、万一塗装がはがれても、そのままお使いになれます。

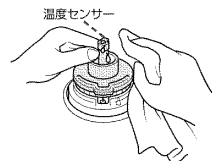
⚠️ 注意



バーナーキャップを水洗いしたときは、必ず水気をとってからセットし、正常に燃焼するか確認してください。

温度センサーのお手入れ

- 温度センサーの頭部についた煮汁やゴミは水に浸し固くしぼった布でふきとってください。



⚠️ 注意

■温度センサーのお手入れはこまめに行う

温度センサーが汚れていると天ぷら油過熱防止機能が働かず、やけどや火災の原因になります。また、上下にスムーズに動くことを確認してください。

立消え安全装置(炎検知部)、電極(点火プラグ)のお手入れ

- 電極(点火プラグ)や立消え安全装置(炎検知部)についた煮こぼれなどの汚れは布でふきとってください。(煮こぼれたときなどは、やけどに注意してすぐふきとるようにしてください)
- 電極(点火プラグ)や立消え安全装置(炎検知部)に汚れがこびりついている場合は、歯ブラシなどの柔らかいブラシで掃除してください。

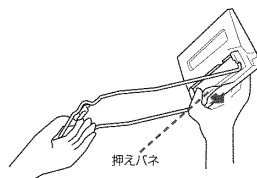
お願い

- 固いブラシではけってみがかないでください。故障の原因となります。

グリルとびらのお手入れ

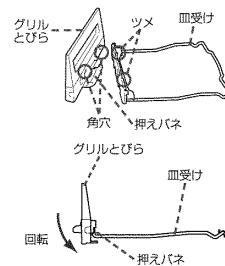
グリルとびらは取りはずすと掃除しやすくなります。

取りはずし方



①押えバネを ➡ の方向に下げる。

取り付け方



- ①血受けのツメ2カ所をグリルとびらの角穴にはめ込む。
- ②➡ の方向に回転させる。
- ③押えバネが血受けに確実にハマっているか確認する。

⚠️ 注意



■グリルとびら・グリルとびらガラスに傷をつけない

傷をつけるとガラスが割れて、けがややけどの原因になります。
グリルとびら、グリルとびらガラスはミガキ粉や金属タワシなどでこすらないでください。

グリル皿のお手入れ

- フッ素コート処理がされているグリル皿は汚れたらそのつど中性洗剤(食器・野菜洗い用)や水を含ませたスポンジたわしや布などのやわらかい物で、お手入れしてください。汚れたままにしておきますとシミが残ることがあります。
- グリル皿はグリル使用のたびに必ずお手入れしてください。汚れたまま使用しますと、こびりついた脂汚れがとれにくくなり、シミが残ることがあります。



お願い

- 金属たわし、ナイロンたわし、ミガキ粉などの固いものや台所用中性洗剤以外の洗剤(レンジクリーナーや漂白剤などのアルカリ性洗剤)は傷やシミ・変色・はがれあるいはフッ素コートをいためる原因となりますので、使用しないでください。
- グリル皿のお手入れはグリル皿が冷えてから行ってください。グリル使用直後、すぐに水をかけたりすると、グリル皿が変形する場合があります。

トッププレート部のお手入れ

表面が汚れたらそのつど中性洗剤（食器・野菜洗い用）や水を含ませたスポンジたわしや布などのやわらかい物でふきとりその後乾いたふきんでふいてください。

- 煮こぼれなど、そのままにしておくとこげついて取れなくなります。ご使用のたびに、こまめにふいてください。



△ 注意



使用直後は、トッププレートのガラス面は熱くなっています。お手入れはガラスが冷えてから行ってください。

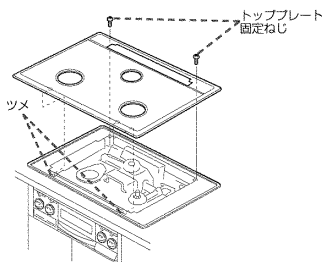


- 汚れのひどいときは、乾いた布に中性洗剤をつけてふきとり、もう一度ぬれふきん、乾いたふきんの順でふいてください。
- こげついた汚れは、液体（クリーム）クレンザーを布につけてふきとってください。（但し、常用するとガラス面の印刷がうすくなる場合があります）

○ お願い

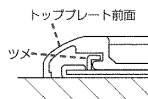
- ドライバーなど先の鋭いものやミガキ粉などは、ガラス面及び、ガラスリングの塗装部分を傷つけないでください。
- 漂白剤、強アルカリ洗剤を使用すると、トッププレート枠の表面がはがれ落ちることがありますので使わないでください。
- トッププレートは排気口部にねじ固定されています。修理技術者以外の人は取りはずさないでください。但し、排気口部から、可燃物（はし、調味料のふたなど）が機器内に入り取り出せない場合は、排気口部の固定ねじ2本ははずし、トッププレートを取りはずしてください。固定ねじがはずれない場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

トッププレートの取りはずし、取り付け



△ 注意

- トッププレートは確実に取り付ける
トッププレートに浮きがないことを確認する。



ごとく・煮こぼれカバーリングなどのホーロー部品のお手入れ

- 使用後そのつど台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）を含ませたスポンジたわしでお手入れをしてください。
- こげつき等により、特に汚れが落ちにくい場合は、スポンジやナイロンたわしにみがき粉やクレンザー（研磨材入り洗剤）をつけてお手入れした後、洗剤をしっかりと洗い流し、水気をふきとってください。

○ お願い

- クレンザーやみがき粉には研磨材が配合されていますので、ごとく表面に多少のごすり傷がつくことがあります。また洗剤の液性はアルカリ性ですので、洗剤を十分に洗い流し、水気をふきとってください。洗剤が残っていると錆の発生の原因になります。
- 使いもの（金属たわしなど）でお手入れをすると、ごとく表面のホーローがかけたり、ひっかき傷が残ることがあるので使用しないでください。

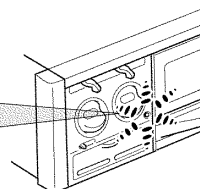
注意ラベルについて

- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼付してあります。汚れたりして読めなくなった時はやわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際には、はがれないようご注意ください。はがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスで新しいラベルを再購入のうえ、張り替えてください。

電池交換サインについて

乾電池の交換時期が近づくお知らせする電池交換サインが付いています。点滅したら新しい単1形アルカリ乾電池（1.5V）2個を用意し点灯に変わったら交換してください。（取り替え方法は⑨を参照してください）

- <点滅> ……サインが点滅したら「そろそろ交換してください。」
- <点灯> ……サインが点灯したら「標準バーナー・グリルは使えません。電池を交換してください。」



- 点滅から点灯に変わると標準バーナー・グリルは使用できなくなりますので、乾電池を新しいものに交換してください。
- 電池交換サインは、標準バーナーまたはグリルを使用しているときに作動します。他のコンロのみを使用している場合は、乾電池の容量が少なくなっても点滅や点灯はしませんのでご注意ください。
- 乾電池が正しくセットされていなかったり、乾電池に全く容量がなくなったときは、電池交換サインは点灯しません。この場合、放電スパークの「パチパチ」音がしませんので、ただちに乾電池を点検してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前にもう一度ご確認ください

- 調べてみると故障でない場合もあります。修理を依頼する前にもう一度チェックしてください。

現象	原因	処置	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> ・点火しない ・点火しにくい ・点火してもすぐ消える 	ガス栓の開き忘れ	ガス栓(ねじガス栓)を全開にしてください。	17・25
	バーナーキャップ、しる受けカップ・煮こぼれカバーリングの取付	浮き、傾きのないように正しくセットしてください。	11
	バーナーの炎口部が水滴でふさがっている	炎口部の水滴をふきとってください。	28
	バーナーの炎口づまり	炎口を掃除してください。	28
	点火プラグ・立消え安全装置(炎検知部)がぬれたり、汚れたりしている	点火プラグ・立消え安全装置(炎検知部)のお手入れをしてください。	28
	アルミはく製汁受け皿を使用している	アルミはく製汁受け皿を使用しないでください。	3
	乾電池が入っていない、または正しくセットされていない	④、⑤を確認して正しくセットしてください。	9
	乾電池が消耗している	新しい電池と交換してください。	9・31
	操作ボタンの押し不十分	操作ボタンを強めに押し、数秒間押し続けてください。	17・25
	操作ボタンがロックされている	点火ロックを解除してください。	17・25
<ul style="list-style-type: none"> ・炎が安定しない ・炎が黄色い ・異常音をたてて燃える ・爆発的に点火する ・なべにススが付きやすくなる ・使用中、炎が消える 	配管の中に空気が残っている	点火操作を繰り返してください。 ※設置時などは点火するまでしばらく時間がかかります。	17・25
	LPガスがなくなりかけている	新しいボンベに交換してください。	—
	バーナーキャップ、しる受けカップ・煮こぼれカバーリングの取付	浮き、傾きのないように正しくセットしてください。	11
	バーナーの炎口づまり	炎口を掃除してください。	28
	立消え安全装置(炎検知部)がぬれたり、汚れたりしている	立消え安全装置(炎検知部)のお手入れをしてください。	28
	LPガスがなくなりかけている	新しいボンベに交換してください。	—
	炎のもぐりこみ・機器内への風の吸い込み	お買い上げの販売店・もよりの大阪ガスに相談してください。	32・34
	使用なべの形状、材質が適していない	「温度センサーに適したなべ」を参照してください。	15
	なべ底や温度センサーの頭部の汚れ	なべ底や温度センサーを掃除してください。	28
	なべ底が凸凹している	底が平らな金属性のなべを使用してください。	14
<ul style="list-style-type: none"> 標準バーナー使用中に消火する ・調理中に自動消火する ・油温度が高くなっても自動消火しない ・点火してもすぐ消える 	油の温度が高くなっている	水を入れたなべや水に濡した布などで温度センサーを冷やしてください。	13・14
	乾電池が正しくセットされていない	正しくセットしてください。	9・31
	乾電池が消耗している	新しい電池と交換してください。	9・31
	消し忘れタイマーの作動(標準バーナー約2時間)	続けて使用する場合は再点火してください。	17
	機器の異常過熱(チャオ・標準バーナーの異常過熱防止センサーの作動)	お買い上げの販売店・もよりの大阪ガスに相談してください。	32・34
	グリル過熱防止センサーの作動	しばらく待ってから再点火してください。(約3分)	24・25
	火力調節が適切でない	火力を炊飯の位置に正しくセットし炊飯をやりなおしてください。	19
	使用なべの形状、材質が適していない	「炊飯機能(標準バーナーのみ)」を参照してください。	15
	標準バーナー使用中に消火する	再度点火操作をしてください。	17・25
	調理中に消火する	周囲に生ガスがなくなるまでしばらく待ってから再点火してください。	13
<ul style="list-style-type: none"> 上手に炊飯できない(標準バーナー) 	グリル過熱防止センサーの作動	続けて使用する場合は、やけどに注意して再点火してください。	13
	グリル過熱防止センサー作動	グリル庫内の温度がある程度下がるまで(3分程)まってから再点火してください。	24
	温度センサー過熱防止機能作動	温度センサーを冷やしてから再点火してください。	13
	コンロ消し忘れタイマー作動	続けて使用する場合は、再点火してください。	14
	コンロ消火タイマーモードで時間を設定しなかった場合	必ず時間設定してください。	21
	温度センサー・グリル過熱防止センサーまたは電子ユニットの故障	ガス栓(ねじガス栓)を閉め、使用を中止し、点検・修理を依頼してください。	—
	温度センサー・グリル過熱防止機能作動	温度センサーを冷やしてから再点火してください。	13
	グリル過熱防止センサー作動	グリル庫内の温度がある程度下がるまで(3分程)まってから再点火してください。	24
	温度センサー過熱防止機能作動	温度センサーを冷やしてから再点火してください。	13
	コンロ消し忘れタイマー作動	続けて使用する場合は、再点火してください。	14

異常過熱防止センサー(チャオバーナー・標準バーナーのみ)

チャオバーナーと標準バーナーは、異常燃焼や排気ガスと熱気が機器内に引き込まれて、ワークトップや機器内が異常温度になったとき、異常過熱防止センサーが作動し、自動消火します。

お願い

- しばらく(約5分以上)待ってから再点火してください。
- センサーが作動しているときは、点火はしますが、手を離すと火が消えます。
- バーナー部や排気口部から排気ガスと熱気が機器内に引き込まれてセンサーが作動し、消火する場合、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

故障かな？と思ったら

こんな場合は故障ではありません

現象	理由
●はじめてグリルを使ったとき煙がでた	●庫内には加工油を使っています。グリルをはじめてお使いになると、その加工油が焦げて排気口部およびコンロバーナー周辺から煙がでます。 はじめてグリルをお使いのときは、庫内の油を焼ききるために約5分くらいから焼きをしてください。 ●から焼きをする場合、グリル内に異物がないことを確認してから行ってください。
●炎が赤い	●グリル使用時にコンロを使用すると焼き物の塩分(ナトリウム)や水中に溶解しているカルシウムなどが燃焼して炎が赤くなる場合がありますが異常ではありません。また加温器を使用している場合にも同様に水分中のカルシウムにより炎が赤くなることがあります。
●点火後や消火後にキシミ音が出る	●過熱や冷却される際に、金属が膨張・収縮して起こる音です。

- 点火の操作をしているとき「パチパチ」という放電とともに電池交換サインが薄く点滅することがありますが故障ではありません。
- 朝一番など、長時間ガス栓を閉じていたときは、すぐに点火しないことがあります。機器配管内の空気が抜け、バーナーにガスがくるまで数回、点火操作を繰り返してください。
- コンロバーナーは消火時にボンという音がある場合がありますが、これは火が消えた時の音で故障ではありません。

お願い

- なお異常のあるときやわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

安全装置が作動した場合の処置

安全装置が作動するとブザーと表示でお知らせします。

表示及びブザー音	内容	処置	参照ページ
“11”点滅 ビー×5回	●標準バーナーまたはグリルの点火時にバーナーに着火しなかった場合	再度点火操作をしてください。	17・25
“12”点滅 ビー×5回	●立消え安全装置の作動(標準バーナーまたはグリル)	周囲に生ガスがなくなるまでしばらく待ってから再点火してください。	13
“02”点滅 ビー×5回	●天ぶら油過熱防止機能作動	続けて使用する場合は、やけどに注意して再点火してください。	13
“14”点滅 ビー×5回	●グリル過熱防止センサー作動	グリル庫内の温度がある程度下がるまで(3分程)まってから再点火してください。	24
“14”点滅 ビー×5回	●温度センサー過熱防止機能作動	温度センサーを冷やしてから再点火してください。	13
“00”点滅 ビー×5回	●コンロ消し忘れタイマー作動	続けて使用する場合は、再点火してください。	14
“03”点滅 ビー×5回	●コンロ消火タイマーモードで時間を設定しなかった場合	必ず時間設定してください。	21
“71”“70” “31”“32” 点滅、ビー連続	●温度センサー・グリル過熱防止センサーまたは電子ユニットの故障	ガス栓(ねじガス栓)を閉め、使用を中止し、点検・修理を依頼してください。	—


- 上記表示はグリルまたはコンロタイマーモード使用中は表示されません。

アフターサービス

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●サービス(点検・修理)を依頼される前に

「故障かな?と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品名……………ビルトインコンロ
2. 品番……………電池ケースふたに表示してあります。
3. 故障、異常の現象……………できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号

転居されるとき

●ガスには都市ガス数種類、およびLPガスの区分があります。

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

この場合調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

保証・補修について

●保証期間中は……

保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

この製品の修理用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後6年間です。

但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は有料修理いたします。

仕様

品 名	ビルトインコンロ
品 番	110-5090型
型 式 名	RBG-N730V4GRT2
点 火 方 式	連続スパーク点火
外 形 寸 法	高さ255mm×本体幅596mm×奥行538mm トッププレート幅740mm
質 量 (本 体)	22.5kg (付属品含む)
ガ ス 接 続	15A (1/2B) ガス管または金属可とう管
安 全 装 置	立消え安全装置(全コンロ・グリル)、天ぷら油過熱防止機能(標準バーナー)、異常過熱防止センサー(チャオ・標準バーナー)、グリル過熱防止センサー、消し忘れタイマー(標準バーナー約2時間)
電 源	DC3.0V (単1形アルカリ乾電池×2個)
付 属 品	単1形乾電池(2)、取扱説明書、保証書、設置工事説明書、クッキングブック

使用ガスの種類 ガスグループ		1時間当りのガス消費量				
		個別ガス消費量				全点火時 ガス消費量
		チャオバーナー	標準バーナー	小バーナー	グリル	
都 市 ガ ス	12A	4.30kW (3700kcal/h)	2.50kW (2150kcal/h)	1.51kW (1300kcal/h)	2.38kW (2050kcal/h)	10.3kW (8850kcal/h)
	13A	4.65kW (4000kcal/h)	2.67kW (2300kcal/h)	1.63kW (1400kcal/h)	2.56kW (2200kcal/h)	11.0kW (9500kcal/h)
L P ガ ス 用		3.57kW (0.255kg/h)	2.46kW (0.176kg/h)	1.34kW (0.096kg/h)	2.69kW (0.192kg/h)	9.70kW (0.693kg/h)